

# データ通信編

データ通信を始める前に	320
通信設定ファイルについて	326
FOMA PC設定ソフトを利用する	338
FOMA PC設定ソフトを利用しない設定方法	358

## FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

### 利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmuseaと接続してデータ通信を行う場合、museaをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

### パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的小さいデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbps(一部機種を除く)の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

- データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス(DUN : Dial-up Networking (プロファイル))を使用する場合は受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があります、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

### 64Kデータ通信

64Kデータ通信はネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的大きなデータ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

### データ転送

データ転送は赤外線、FOMA USB接続ケーブル(別売) または卓上ホルダで市販のUSB接続ケーブルを使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどを接続することによって利用できます。パソコンとデータを送受信する場合には、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールしてからご利用ください。

## FOMA端末と他の機器との接続方法

接続には、次の4つの方法があります。Bluetoothは、上記の通信形態のうちパケット通信と64Kデータ通信を行う場合に、赤外線通信はデータ転送を行う場合のみ利用できます。

### FOMA USB接続ケーブルで接続する

FOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。  
P326

- ご使用前にUSB接続用の通信設定ファイルのインストールが必要です。

### 卓上ホルダで接続する

市販のUSBケーブルを使って、付属の卓上ホルダとUSBポートを装備したパソコンと接続します。 P327

卓上ホルダにACアダプタを接続すると、充電しながら通信することができます。

- ご使用前にUSB接続用の通信設定ファイルのインストールが必要です。

### Bluetoothを使う

Bluetoothに対応したパソコンからFOMA端末にワイヤレス接続します。 P335

- ご使用前にBluetooth接続用通信設定ファイルのインストールが必要となる場合があります。
- ご使用前に機器の登録とBluetoothのワイヤレス接続が必要です。 P335
- ダイヤルアップ通信の設定時に、以下のいずれかのモデムを使用して通信します。
  - FOMA F900iT Bluetooth Modem
  - Bluetoothリンク経由標準モデム
  - Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム( )  
: Bluetooth機器によっては、モデム以外のデバイスとして認識される場合があります。詳細については、Bluetooth機器メーカーにお問い合わせください。

### 赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。 P302

## ご利用時の留意事項

### インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

### 接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

## ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証 (IDとパスワード) が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト (ダイヤルアップネットワーク) でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

## ブラウザ利用時のアクセス認証について

ブラウザ利用時のアクセス認証でFirstPass (ユーザ証明書) が必要な場合があります。その場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内のFirstPass Manualをご覧ください。「FirstPass Manual (PDF形式) 」をご覧ください。Adobe Reader (バージョン6.0以上を推奨) が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます (別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

- FirstPassをパソコンでご利用いただく場合は、Bluetoothでも利用できます。ただし、Bluetoothに割り当てられるCOMポートは1つしかないため、Bluetoothでダイヤルアップ通信した場合には、パソコンのブラウザを利用してFirstPassのサイトの認証を行うことはできません。

### 動作環境の確認

FirstPass PCソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項目	必要環境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP (各日本語版)
必要メモリ	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional : 32MB以上 Windows XP : 128MB以上
ハードディスク容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

## パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル (別売) または卓上ホルダで市販のUSBケーブルを使って接続する場合はこれに対応したパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1のDial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワークングプロファイル) に対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

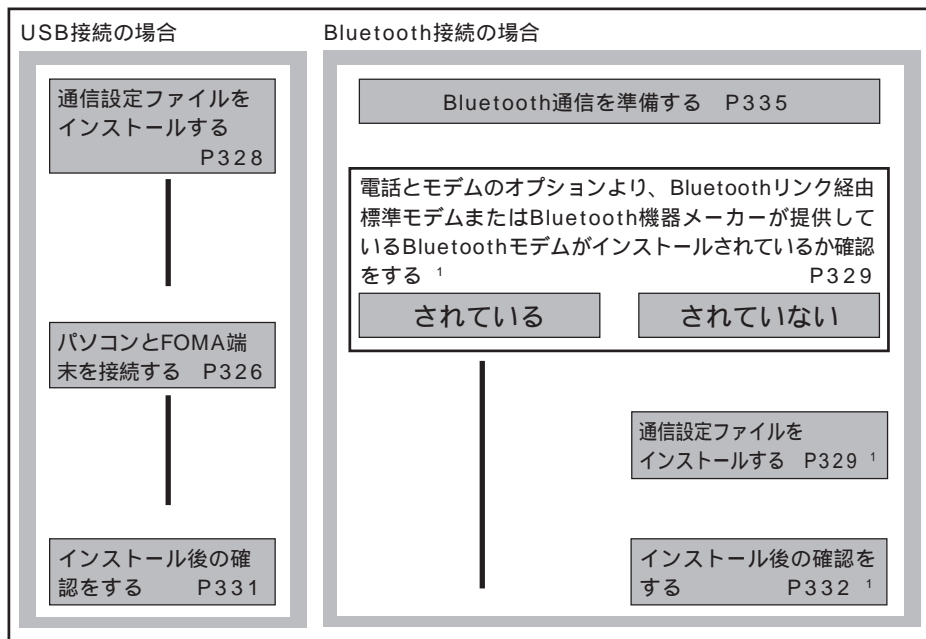
ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

## データ通信編の用語集

- APN ( Access Point Name )  
パケット通信で接続するインターネットサービスプロバイダや社内LANを識別する文字列。モペラは、「mopera.ne.jp」がAPNとなります。
- Bluetooth 電源OFF P375
- Bluetooth 電源ON P375
- cid ( Context Identifier )  
パケット通信の接続先 ( APN ) に対応して、FOMA 端末に登録した APN に割り当てられる登録番号。FOMA 端末では 1 から 10 までの 10 件が使えます。
- DNS ( Domain Name System )  
ドメインネーム ( 例 : mopera.ne.jp ) を、コンピュータで使う IP アドレスに変換するシステムのこと。
- IrDA ( Infrared Data Association )  
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。
- IrMC ( Ir Mobile Communications )  
携帯電話どうしやPDA( 携帯情報端末 ) 間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMC に準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。
- OBEX ( Object Exchange )  
データ通信の国際規格の 1 つ。OBEX に対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- QoS ( Quality of Service )  
サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA 端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。 P408、P409
- W-CDMA  
世界標準規格として認定された第三代移動通信システム ( IMT-2000 ) の 1 つ。FOMA 端末は、W-CDMA 規格に準拠しています。
- W-TCP  
FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- 機器登録 ( ペアリング ) P375
- 全接続 / 自動接続 / 手動接続 P375
- 検索 ( 探索、またはサーチ ) P375
- パソコンの管理者権限を持ったユーザ  
Windows XP、2000 Professional を使用するとき、OS のシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1 台のパソコンに最低 1 人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

# データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。



FOMA PC設定ソフトをインストールする P339

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする P358

かんたん設定でパケット通信の設定をする

mopera<sup>2</sup> P342  
その他のプロバイダ P345

かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする

mopera<sup>2</sup> P347  
その他のプロバイダ P348

接続する P373  
切断する P374

接続する P350  
切断する P351

- 1: FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデムで接続する場合は、通信設定ファイルをインストールする必要はありません。
- 2: 「mopera」はお申し込み手続き不要のドコモのインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

## 通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。 P 328

## FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うのに必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行うことができます。 P 338

FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、かんたん設定(64Kデータ通信)とW-TCP設定以外は設定できません。この場合の接続先(APN)の設定についてはダイヤルアップネットワークの設定( P 359 )をご覧ください。

## 動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項目	必要環境
パソコン本体 <sup>1</sup>	PC-AT互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ <sup>2</sup>	Windows 98、Windows Me : 32MB以上 Windows 2000 Professional : 64MB以上 Windows XP : 128MB以上
ハードディスク容量 <sup>2</sup>	5MB以上の空き容量

- 1 : USB接続の場合は、USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。  
Bluetooth接続の場合は、パソコン本体またはBluetooth USBアダプタなどのオプションを付加することにより、以下の機能をサポートしている必要があります。
- ・Bluetooth標準規格Ver.1.1
  - ・Dial-Up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
- 上記の仕様を満たすすべての機器との接続を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 2 : 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# パソコンとFOMA端末を接続する

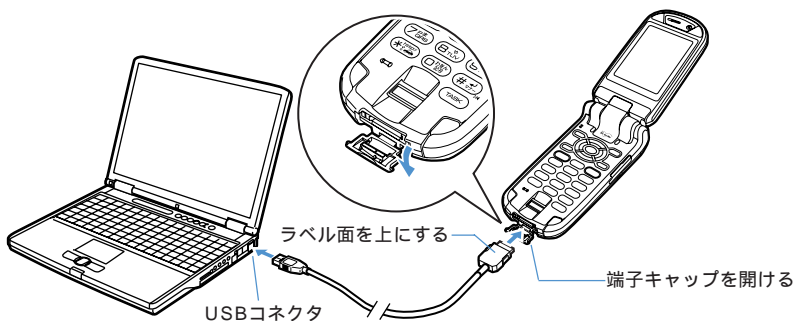
パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。


初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイルをインストール後に接続してください。

P328

## FOMA USB接続ケーブルで接続する

### 1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む



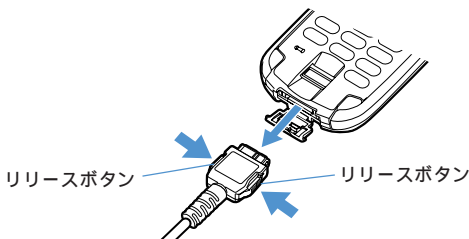
- 通信設定ファイルがインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に  が表示されます。

### 2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で「キャンセル」をクリックして、終了してください。

取り外しかた

- (1) FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押して( )、FOMA端末から引き抜きます( )。



- (2) パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜きます。

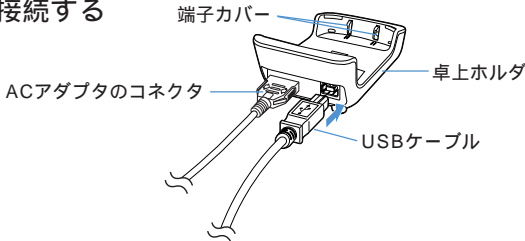


## 卓上ホルダで接続する

パソコンとFOMA端末を付属の卓上ホルダを使って充電しながら接続できます。

- 市販のUSBケーブルは、USB仕様1.1/2.0に準拠したもので、シリーズA、シリーズBコネクタを有するケーブルを使用してください。
- 卓上ホルダを利用して充電やデータ通信を行うときは、FOMA端末をクローズ状態にしてください。オープン状態やターン状態に切り替えたり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えないでください。FOMA端末が卓上ホルダから外れ、充電やデータ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となります。
- 必ず卓上ホルダF04の取扱説明書をご覧ください。

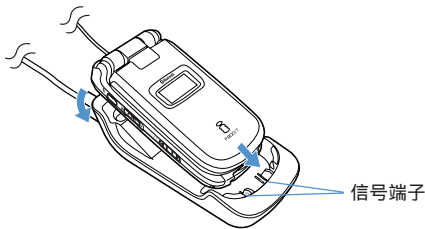
### 1 ACアダプタが接続された卓上ホルダとパソコンを市販のUSBケーブルで接続する




- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

### 2 FOMA端末を卓上ホルダにセットする

FOMA端末と卓上ホルダの端子を合わせ( )、FOMA端末を矢印方向( )に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で「キャンセル」をクリックして、終了してください。
- 卓上ホルダへの取り付けや取り外しはFOMA端末をクローズ状態にして行ってください。
- 通信設定ファイルがインストールされている場合は、接続すると、FOMA端末の画面にが表示されます。

## お知らせ

- 取り外しかたについて 『基本編』P59
- 卓上ホルダには、必ずコンセントに差し込まれたACアダプタを接続してください。
- 電源が入っているパソコンと卓上ホルダを市販のUSBケーブルで接続した状態で充電を行った場合、充電時間が長くなります(約4時間)。
- 卓上ホルダの端子カバーは、指などで直接押さないでください。また、押した際に出てくる信号端子には絶対に触らないでください。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

## 通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

通信設定ファイルのインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに必要です。2回目以降の接続からは、インストールは不要です。

Windows XP、2000 Professionalで「通信設定ファイル」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。インストールを始める前に、稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼働中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。インストール時には、あわせてパソコンの取扱説明書もご参照ください。

### FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続する場合

例 Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

#### 1 FOMA F900iT用CD-ROMをパソコンにセットする

FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

#### 2 [スタート]メニュー [ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>: ¥USBDRIVE¥F900iT in.exe」と入力して[OK]をクリックする

FOMA F900iTドライバをインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

#### 3 [はい]をクリックする

FOMA F900iTをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。



#### 4 FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
- 接続方法 P326
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。 P331



### お知らせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは表示に従ってアンインストールを行った後、もう一度操作1～4を行って通信設定ファイルをインストールしてください。
- インストールに失敗してP333操作2の画面で「FOMA F900iT USB」が表示されていないときは、[スタート]メニュー 「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「<CD-ROMドライブ名>: ¥USBDRIVE¥F900iT in.exe」を指定し、[OK]をクリックして直接実行し、通信設定ファイルをアンインストールした後、再度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（P333）、再度インストールしてください。

## Bluetoothでワイヤレス接続する場合

- あらかじめFOMA端末とパソコンをBluetoothでワイヤレス接続してください。 P 335
- あらかじめ、お使いのパソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をしておいてください。また、お使いのパソコンのBluetoothデバイスの設定ソフトでダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポートを確認しておいてください。

例 Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

### 1 FOMA F900iT用CD-ROMをパソコンにセットする

### 2 [スタート]メニューをクリックし、「コントロールパネル」「プリンタとその他のハードウェア」「電話とモデムのオプション」の順にクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

- 「所在地情報」画面が表示されたときは、現在地の市外局番を入力して[OK]をクリックします。

#### Windows 2000 Professionalのとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする

#### Windows Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[モデム]アイコンをダブルクリックする

### 3 [モデム]タブをクリックする

- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムでワイヤレス接続する場合は、[キャンセル]をクリックして操作を終了してください。通信設定ファイルをインストールする必要はありません。

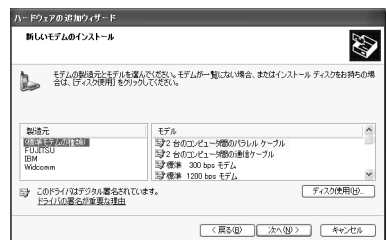


### 4 [追加]をクリックする

### 5 「モデムを一覧から選択するので検出しない」を選択して[次へ]をクリックする

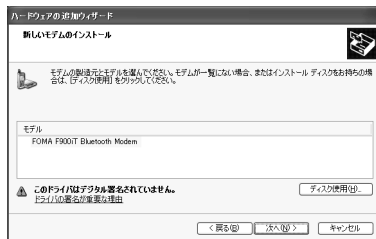
「ハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

### 6 [ディスク使用]をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に「 < CD-ROMドライブ名 > : ¥BT\_modem」を指定し、[OK]をクリックする

8 「FOMA F900iT Bluetooth Modem」を選択して[次へ]をクリックする

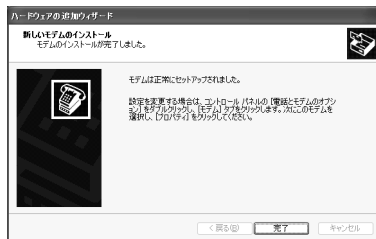


9 「選択したポート」を選択し、一覧から使用するCOMポート番号を選択して[次へ]をクリックする

- お使いのパソコンのBluetoothデバイスの設定ソフトでダイヤルアップ接続用に設定したCOMポートを選択します。COMポート番号の確認方法については、お使いになるパソコンなどの取扱説明書をお読みください。
- インストール中に右の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。



10 [完了]をクリックする



11 モデムに「FOMA F900iT Bluetooth Modem」が表示されているのを確認して [OK] をクリックする



# インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

インストールしたドライバをパソコンで確認する方法について説明します。

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。

例 Windows XPで確認するとき

- 1 [スタート]メニュー「コントロールパネル」[パフォーマンスとメンテナンス]アイコン [システム]アイコンの順にクリックする  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して [システム]アイコンをダブルクリックする

- 2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

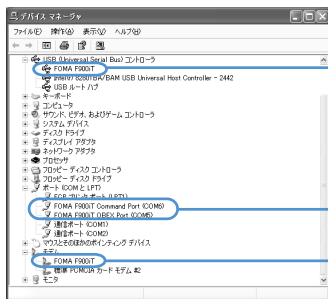
Windows Me、98のとき

[デバイスマネージャ]タブをクリックする  
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

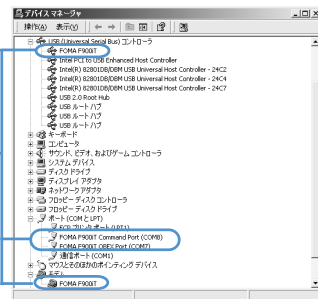
- 3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する

## FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続する場合

「ポート(COMとLPT)」または「ポート(COM/LPT)」、「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」、「モデム」の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。 P332

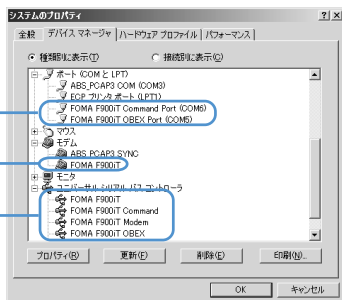


Windows XPの場合



Windows 2000 Professionalの場合

認識されるとこのように表示されます。



Windows Me、98の場合

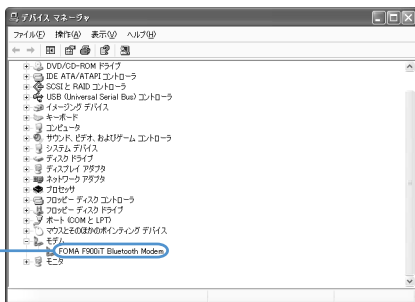
- 通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート (COM/LPT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FOMA F900iT Command Port (COMx)</li> <li>• FOMA F900iT OBEX Port (COMx)</li> </ul> (COMxはお使いのパソコンによって異なります)
モデム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FOMA F900iT</li> </ul>
ユニバーサル シリアル バス (USB : Universal Serial Bus) コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FOMA F900iT</li> <li>• FOMA F900iT Command</li> <li>• FOMA F900iT Modem</li> <li>• FOMA F900iT OBEX</li> </ul>

: Windows Me、98 の場合のみ表示されます。

## Bluetoothでワイヤレス接続する場合

認識されるとこのように表示されます。



WindowsXPの場合

- 通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
モデム	FOMA F900iT Bluetooth Modem

- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデムで接続する場合は、通信設定ファイルをインストールする必要はありません。FOMA F900iT Bluetooth Modem以外のBluetooth機器の詳細については、Bluetooth機器メーカーへお問い合わせください。

# 通信設定ファイルをアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

OSによって画面表示などが異なります。

アンインストールを実行する前に、パソコンからFOMA端末を取り外す必要があります。

## FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続した場合

例 Windows XPでアンインストールするとき

### 1 [スタート]メニュー「コントロールパネル」[プログラムの追加と削除]アイコンの順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面(Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面)が表示されます。

### 2 「FOMA F900iT USB」を選択して [変更と削除]をクリックする

FOMA F900iTドライバをアンインストールするかどうかの確認画面が表示されます。



### 3 [はい]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。



### 4 [OK]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが終了します。



## お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA F900iT USB」が表示されていないときは、[スタート]メニュー「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「<CD-ROM ドライブ名> : ¥USBDRIVE¥F900iTIn.exe」を指定し、[OK]をクリックして直接実行してください。
- Windows Me、98では通信設定ファイルをアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、USBケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

例 Windows XPでアンインストールするとき

- あらかじめFOMA端末とパソコンのワイヤレス接続を切断してください。 P337

## 1 [スタート]メニューをクリックし、「コントロールパネル」「プリンタとその他のハードウェア」「電話とモデムのオプション」の順にクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

### Windows 2000 Professionalのとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする

### Windows Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[モデム]アイコンをダブルクリックする

## 2 [モデム]タブをクリックし、「FOMA F900iT Bluetooth Modem」を選択して [削除]をクリックする



## 3 [はい]をクリックする 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。



## 4 [OK]をクリックする





# Bluetooth通信を準備する <ダイヤルアップ通信サービス>

Bluetooth対応パソコンからFOMA端末を経由して、データ通信を行います。

FOMA端末から全接続または自動接続を行った後、パソコンから接続操作を行います。

Bluetoothの詳細設定などBluetooth全般については、Bluetooth編をご覧ください。 P375  
パソコンからの接続操作が必要です。

全接続、自動接続の操作後、Bluetoothの電源が入るまでの約10秒の間に中断することはできません。

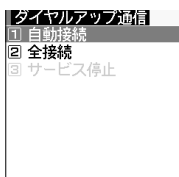


## 全接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、「全接続」を行い待受画面に戻ってから、パソコンをFOMA端末に登録します。

- 一度機器の登録が完了すると、次回からは「自動接続」で接続することができます。

1 待受画面で **MENU** **☰** **7Pま GPRS** **7Pま GPRS** **1.あ @** を押す



2 **2か ABC** を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う



10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に **Bluetooth** ( P10 ) が点灯表示されます。全接続の設定が完了すると接続待ちになり、待受画面に戻ります。

3 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

- 待受画面のときに機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。

ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。



4 接続要求画面が表示されたら「はい」を選択して○を押す



5 Bluetoothパスキー入力画面が表示されたらBluetoothパスキーを入力して○を押す

- Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。



6 登録確認画面が表示されたら「はい」を選択して○を押す

機器が登録され、ワイヤレス接続を開始します。  
接続が完了すると、待受画面でが点滅します。

### 自動接続する

- 全接続などをして機器をあらかじめ登録しておいてください。 P335



1 待受画面で を押す

ダイヤルアップメニューが表示されます。



2 を押す

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に P10 が点灯表示されます。自動接続の設定が完了すると、接続待ちになり、待受画面に戻ります。



3 パソコンから接続操作をする

接続が自動で完了し、待受画面にが点滅します。

- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。




### お知らせ



- 自動接続は登録済みのBluetooth機器とのみ接続可能です。
- ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの自動接続中は、ダイヤルアップ通信サービスの全接続を行うことはできません。自動接続のみ可能です。 P380
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。 P384
- 全接続すると、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されます。 P375
- ダイヤルアップ通信によるデータ通信中でも、通信状態が悪化するとタイムアウトになり、ワイヤレス接続は中断されます。このとき、ディスプレイ上部のは点滅から点灯に変わります。
- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス(Dial-up Networking Profile)を使用してパケット通信を行う場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があります。上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

## ダイヤルアップ通信サービスを停止する

ダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1

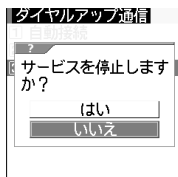
ダイヤルアップ通信サービス中に、待受画面で   

  を押す

ダイヤルアップメニューが表示されます。

2

 を押す




3

「はい」を選択して  を押す



ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

他のBluetoothサービスが起動していない場合は、Bluetoothの電源が切れ、ディスプレイ上部に表示されている  が消えます。

# FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンにUSBやBluetoothで接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

## かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

## W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

## 接続先( APN )の設定

「パケット通信」を行う際に必要な「接続先( APN )の設定」を行います。

FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN( Access Point Name )と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号( cid )を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの1番には標準で、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

## お知らせ

- USB接続とBluetooth接続はそれぞれ個別に接続先( APN )を設定する必要があります。
- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトのかんたん設定(64Kデータ通信)とW-TCPの設定のみ設定可能です。
- FOMA PC設定ソフトを使わずにパケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
  - ・パケット通信、64Kデータ通信 P358

## FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。 P325

### STEP1 FOMA PC設定ソフトをインストールする P339



「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

### STEP2 設定前の準備



設定を行う前に次のことを確認してください。

- FOMA端末とパソコンの接続 P326
- FOMA端末がパソコンに認識されているか P331

### STEP3 かんたん設定で通信の設定を行う



- moperaを利用したパケット通信 P342
  - その他のプロバイダを利用したパケット通信 P345
  - moperaを利用した64Kデータ通信 P347
  - その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信 P348
- その他の設定は、P358以降をご参照ください。

### STEP4 接続する P350

インターネットに接続します。

## お知らせ

- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。

# FOMA PC設定ソフトをインストールする

次のFOMA端末に同梱されている「W-TCP環境設定ソフト(以後、ID「W-TCP設定ソフト」と呼びます)」、および「FOMAデータ通信設定ソフト(以後、ID「FOMAデータ通信設定ソフト」と呼びます)」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

(FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V)

Windows XP、2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼動中のプログラムがあった場合は、使用中のプログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。

例 Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

## 1 FOMA F900iT用CD-ROM をパソコンにセットする

## 2 [スタート]メニュー[ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA\_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、[OK]をクリックする

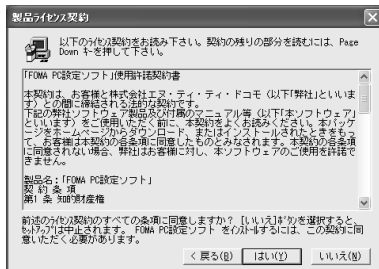
## 3 [次へ]をクリックする

ID「W-TCP設定ソフト」およびID「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P341を参照してください。



## 4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合はいはいをクリックする

「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書です。  
[はいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。



## 5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。 P354

これは、「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。インストール後に常駐の設定は変更できません。



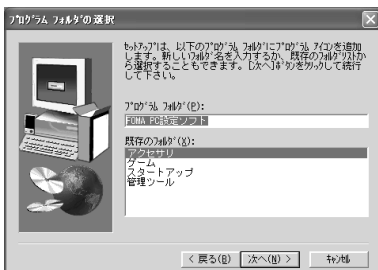
## 6 インストール先を確認して[次へ]をクリックする

変更する場合は参照をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックします。



## 7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して[次へ]をクリックする

変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックします。



## 8 [完了]をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

このまま各種設定を始められます。 P342



## FOMA PC設定ソフト インストール時の留意事項

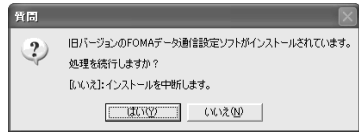
## 旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」から旧「W-TCP設定ソフト」を削除してください。 P352



## 旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。[はい]をクリックすると、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールされます。



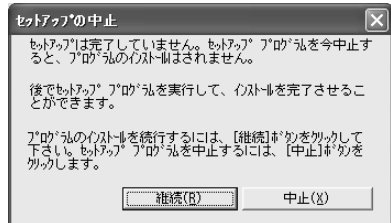
## 既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。[はい]をクリックすると「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールし直されます。



## インストール途中で「キャンセル」をクリックした場合

セットアップ途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックし、インストールを中断した場合、右の画面が表示されます。インストールを継続する場合は「継続」を、意図的に中止する場合は「中止」をクリックしてください。



## 通信の設定を行う(かんたん設定)

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

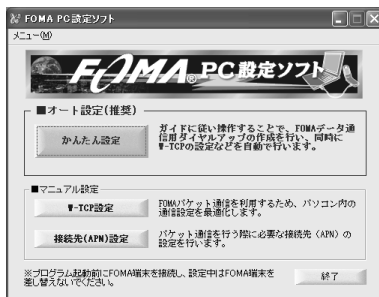
P326、P327

Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。P335、P336パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトを利用してパケット通信の設定はできません。

- 1 [スタート]メニューをクリックし、「プログラム (Windows XPの場合は、「すべてのプログラム」)「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動し、右の画面が表示されます。



### かんたん設定からパケット通信を選択する

#### moperaを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信 の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用します。

：【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps(一部機種を除く)の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

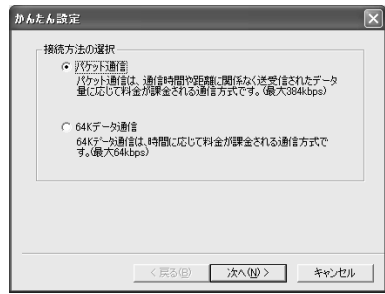
- 1 FOMA PC設定ソフトを起動して [かんたん設定] をクリックする





## 2 接続方法を選択して[次へ]をクリックする

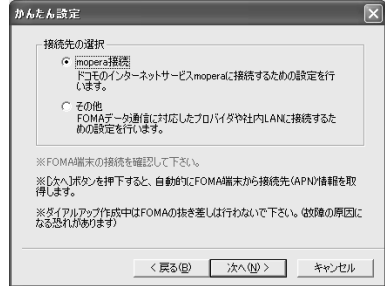
ここでは「パケット通信」を選択します。



## 3 接続先を選択して[次へ]をクリックする

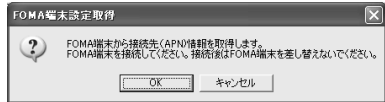
ここでは「mopera接続」を選択します。

- mopera以外のプロバイダをご利用の場合 P 345



## 4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先 (APN) 情報」を取得します。しばらくお待ちください。



## 5 接続名を入力して[次へ]をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号(半角文字)は入力できません。  
¥ / : \* ? ! < > |"
- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

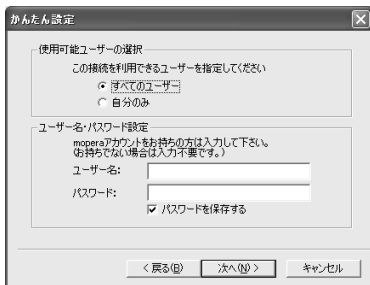


USB接続の場合

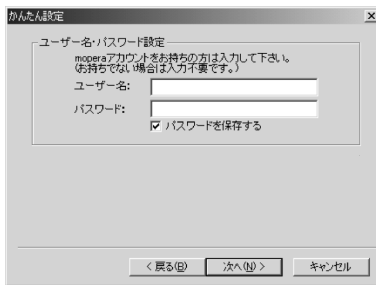
## 6 [次へ]をクリックする

接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。



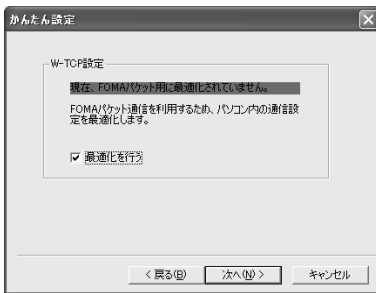
Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

## 7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

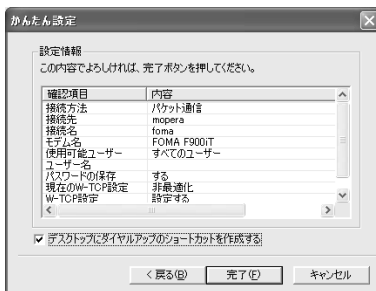
パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。



## 8 設定情報を確認して[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。



USB接続の場合

## 9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を行う P350

### お知らせ

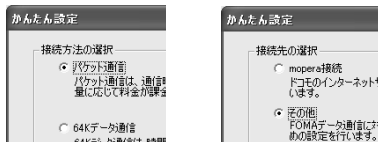
- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス(Dial-up Networking Profile)を使用する場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があります。上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

最大384kbpsの高速パケット通信 の設定を行います。

: 高速パケット通信 P342

## 1 P342の操作1～4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。



## 2 接続名を入力して「接続先(APN)設定」をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号(半角文字)は入力できません。  
¥ / : \* ? ! < > | ”

「接続先(APN)の選択」にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN

「mopera.ne.jp」が設定されています。

- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。



USB接続の場合

### 高度な設定(TCP/IPの設定)

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

## 3 接続先(APN)を設定する

番号(cid 1)にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。

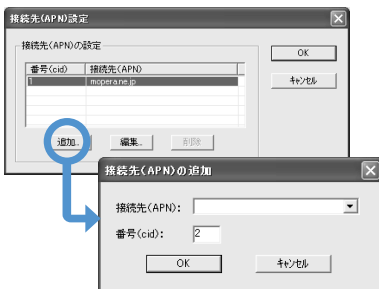
「追加」をクリックする

「接続先(APN)の追加」画面が表示されます。

「接続先(APN)」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力し、「OK」をクリックする

「接続先(APN)設定」画面に戻ります。

- 「接続先(APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。  
cidはUSB接続とBluetooth接続でそれぞれ1～10まで登録可能です。



## 4 「OK」をクリックする

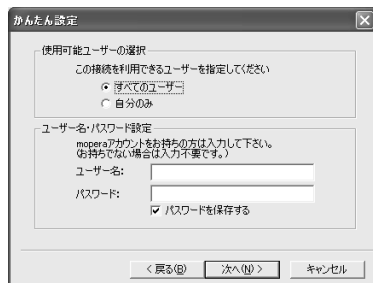
操作2の画面に戻ります。「接続先(APN)の選択」には、操作3で設定した「接続先(APN)」が表示されています。

5 「接続先 (APN) の選択」で接続先名 (APN) を確認して「次へ」をクリックする

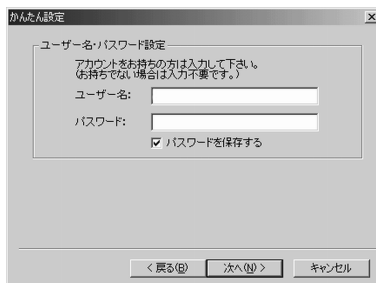
6 ユーザー名・パスワードを入力して「次へ」をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。



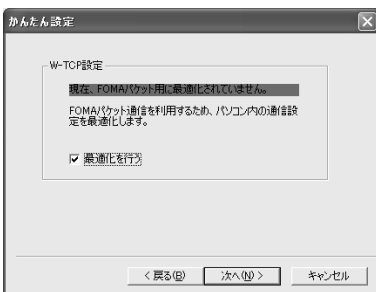
Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックする

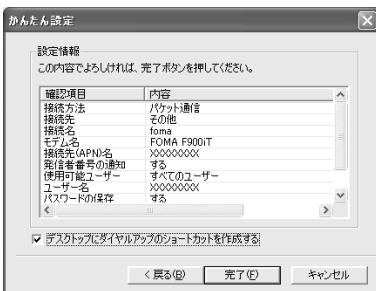
パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。



8 設定情報を確認して「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。



USB接続の場合

9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を行う P350

## お知らせ

- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス(Dial-up Networking Profile)を使用する場合は受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があります、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

## かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合

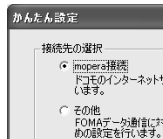
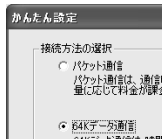
## moperaを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信 の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用します。

：【64Kデータ通信】64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されますので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信をする場合に適しています。

## 1 P342の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。



## 2 接続名の入力とモデムを選択して [次へ] をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号(半角文字)は入力できません。

¥ / : \* ? ! < > | ”

- 次のモデムを選択します。

- USB接続の場合：FOMA F900iT

- Bluetooth接続の場合：

FOMA F900iT Bluetooth Modem

またはBluetoothリンク経由標準モデム

もしくはパソコンメーカーが提供している

Bluetoothモデム

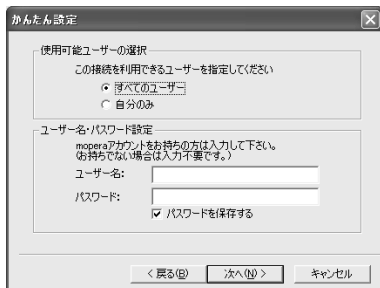


USB接続の場合

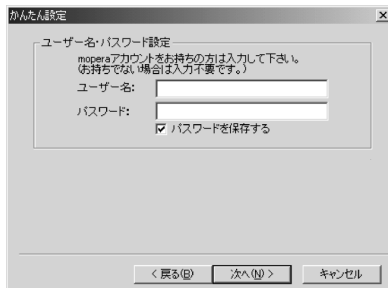
## 3 [次へ] をクリックする

接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

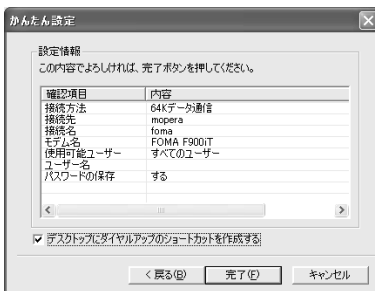
## 4 設定情報を確認して「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。

「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されている場合は自動的にショートカットが作成されます。

設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」または「Bluetoothリンク経由標準モデム」もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。



USB接続の場合

## 5 [OK]をクリックする

- 通信を行う P 350

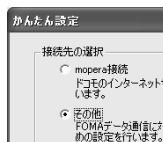
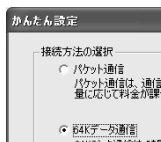
### その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信 の設定を行います。

: 64Kデータ通信 P 347

## 1 P 342の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。



## 2 各項目を設定して「次へ」をクリックする

ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

- 接続名：任意
- 次のモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：  
FOMA F900iT Bluetooth Modem  
またはBluetoothリンク経由標準モデム  
もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム
- 電話番号：  
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。  
0123456789ABCDPTWabcdptw!@  
\$-()\*+\*#,&および半角スペース
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。



USB接続の場合

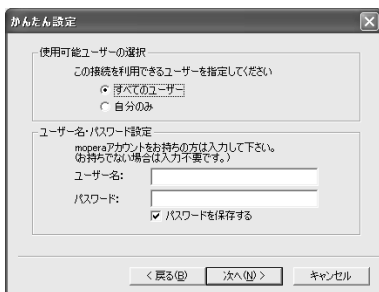
## 高度な設定(TCP/IPの設定)

[ 詳細情報の設定 ] をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

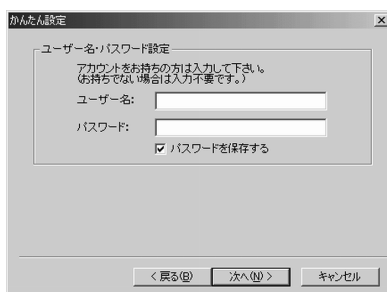
## 3 ユーザー名・パスワードを入力して [ 次へ ] をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

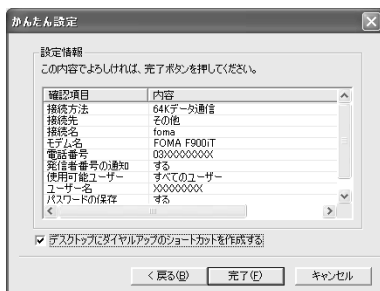
## 4 設定情報を確認して [ 完了 ] をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。

「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されている場合は自動的にショートカットが作成されます。

設定内容を変更する場合は [ 戻る ] をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」または「Bluetoothリンク経由標準モデム」もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。



USB接続の場合

## 5 [ OK ] をクリックする

- 通信を行う P350

# FOMA PC設定ソフトで設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。また、64Kデータ通信中や音声電話通話中に着信したときなどの対応についても説明します。

通信を実行する前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

P326、P327

Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。 P335、P336  
パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

## 1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信が開始されます。

- 次の方法でも接続することができます。

Windows XPのとき

[スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」「アクセサリ」「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックします。

Windows2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)をクリックし、接続アイコンをダブルクリックします。

## 2 接続を実行する

- moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、[ダイヤル]をクリックします。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して [ダイヤル] をクリックします。「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。
- OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。



アイコンはOSによって異なります。



## お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。



パケット通信のとき



64Kデータ通信のとき

- FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
- F900IT以外のFOMA端末を接続する場合は、通信設定ファイルをインストールし直してください。

P328



## 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

### 1 タスクトレイのをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

### 2 [切断] をクリックする

接続が切断されます。

#### Bluetooth接続の場合

FOMA端末のダイヤルアップ通信サービスも停止します。 P 337



画面はOSにより異なります。

## 64Kデータ通信の着信があったときは



64Kデータ通信の着信があると左の画面が表示されます。パソコンで対応する操作をしてください。

- 64Kデータ通信中にさらに別の64Kデータ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

## 64Kデータ通信中に音声電話がかかってきたときは



64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると左の画面が表示されます。**[MENU]** を押して次の項目から選択できます。

サブメニュー	説明
1 留守番電話	留守番電話の設定に従って、かかってきた音声電話に対応します。
2 着信拒否	かかってきた音声電話を切断します。
3 転送でんわ	転送でんわの設定に従って、かかってきた音声電話を転送します。
4 通信終了	現在通信中の64Kデータ通信を切断します。

## 音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったときは

音声電話通話中の64Kデータ通信の着信は着信拒否になります。ただし、履歴に不在着信として残ります。

## お知らせ

- オールロック中に64Kデータ通信の着信があったときや、音声電話がかかってきたときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。
- 外部機器が未接続の状態では着信があった場合は、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

## FOMA PC設定ソフトをアンインストールする


FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

OSによって画面表示などが異なります。

### アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

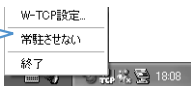
「W-TCP設定ソフト」の常駐設定を解除する

画面右下のタスクトレイのを右クリックして、「常駐させない」をクリックします。

右クリック



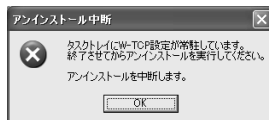
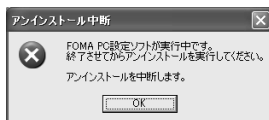
クリック



「FOMA PC設定ソフト」を終了させる

「終了」をクリックします。

常駐設定を解除せずにアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。



### アンインストールする

例 Windows XPでアンインストールするとき

- 1 [スタート]メニュー 「コントロールパネル」の順にクリックし、  
[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」「コントロールパネル」の順に選択して[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面(Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面)が表示されます。

## 2 「FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

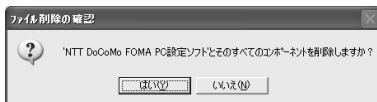
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して



ここをクリック

## 3 削除するプログラム名を確認して「はい」をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。



## 4 「OK」をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

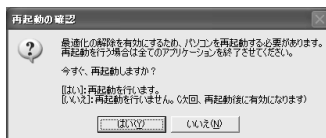
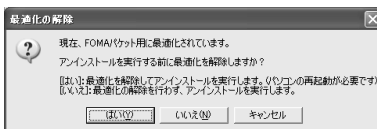


### 「W-TCP最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は右の画面が表示されます。

アンインストールする場合は「はい」をクリックしてください。

「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。



# W-TCP設定でパケット通信の設定を最適化する

「W-TCP設定ソフト」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適する方法と最適化を解除する方法について説明します。

## W-TCPの役割

「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

## 最適化の設定と解除


### Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

## 1 「FOMA PC設定ソフト」を起動する

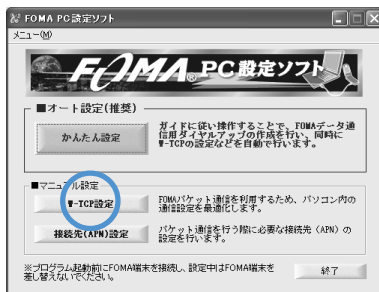
- 起動方法 P342

### タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合

タスクトレイのをクリックすると、W-TCP設定を直接起動できます。その場合は、操作3へ進みます。

クリック

## 2 [W-TCP設定]をクリックする



## 3 次の操作を行う

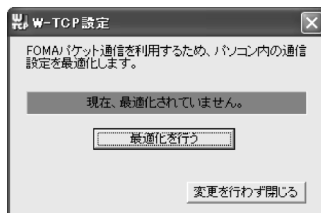
### システム設定が最適化されていないとき

右の画面が表示されます。

[最適化を行う]をクリックすると、「W-TCP設定(ダイヤルアップ)」画面が表示されます。

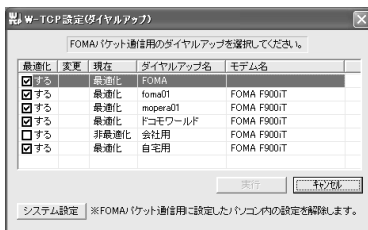
最適化するダイヤルアップを選択して[実行]をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動後に有効になります。



## システム設定が最適化されているとき

右の画面が表示されます。  
内容を変更する場合は設定を行ってください。  
変更した内容はパソコンを再起動後に有効になります。

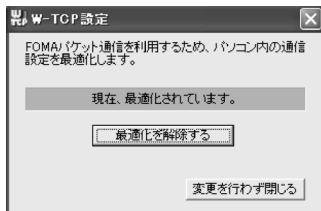


## 最適化を解除するとき

「W-TCP設定 (ダイヤルアップ)」画面で「システム設定」をクリックします。

右の画面が表示されます。

「最適化を解除する」をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動すると、最適化が解除されます。



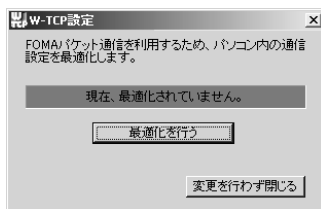
## Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- 1 P354の操作1～2を行う
- 2 次の操作を行う

## システム設定が最適化されていないとき

右の画面が表示されます。

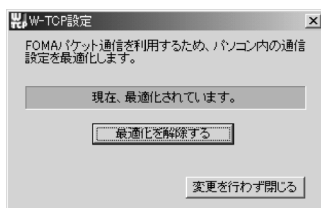
「最適化を行う」をクリックして「OK」をクリックすると、再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。



## システム設定が最適化されているとき

右の画面が表示されます。

FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックして「OK」をクリックすると、再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、パソコンを再起動してください。



## 接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は最大10件設定でき、登録番号(cid)の1~10に登録して管理します。

設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。P326、P327 Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。P335、P336 パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera」以外の接続先(APN)については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

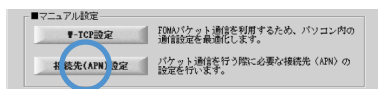
USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先(APN)を設定する必要があります。接続の種類を変更した場合は、接続先(APN)の設定を確認してください。なお、Bluetooth機器によってはFOMA端末に☞が表示され、USB接続のAPN設定が有効になる場合があります。

FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトの接続先(APN)設定で設定することはできません。

ダイヤルアップネットワークの設定をする P358

### 1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して [接続先(APN)設定]をクリックする

- 起動方法 P342



### 2 FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先(APN)情報」を読み込みます。

### 3 接続先(APN)の設定を行う

次の操作ができます。



## 接続先(APN)の追加・編集・削除

### 接続先(APN)を追加するとき

「接続先(APN)設定」画面で、[追加]をクリックする

### 登録済みの接続先(APN)を編集または修正するとき

「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して[編集]をクリックする

### 登録済みの接続先(APN)を削除するとき

「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して[削除]をクリックする

- 番号(cid)の1に登録されている接続先(APN)は削除できません。

## ファイルへの保存

FOMA 端末に登録された接続先 (APN) 設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先 (APN) 設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー「名前を付けて保存」または「上書き保存」の順にクリックします。

## ファイルからの読み込み

パソコンに保存された接続先 (APN) 設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込んだりする場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー「開く」の順にクリックします。

## FOMA 端末からの接続先 (APN) 情報の読み込み

FOMA 端末に手でアクセスし、登録された接続先 (APN) 設定を読み込む場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー「FOMA 端末から設定を取得」の順にクリックします。

## FOMA 端末への接続先 (APN) 情報の書き込み

表示されている接続先 (APN) 設定を FOMA 端末に書き込む場合は、「接続先 (APN) 設定」画面で FOMA 端末へ設定を書き込む をクリックします。

## ダイヤルアップ作成機能

「接続先 (APN) 設定」画面で追加・編集された接続先 (APN) を選択して [ダイヤルアップ作成] をクリックします。「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。接続先 (APN) への書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください (mopera の場合は不要)。ユーザー名とパスワードを入力して (Windows XP、2000 Professional の場合は使用可能ユーザの選択をして) [OK] をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合、「パケット通信ダイヤルアップの作成」画面で 詳細情報の設定 をクリックし、必要な情報を登録後、[OK] をクリックしてください。

設定を入力後、[FOMA 端末へ設定を書き込む] をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

## お知らせ

- 接続先 (APN) 設定は FOMA 端末に登録される情報のため、異なる FOMA 端末 (故障修理により一時的に貸し出された代替端末など) を接続する場合は、APN を登録し直してください。
- USB 接続と Bluetooth 接続は、それぞれ個別に接続先 (APN) を設定する必要があります。
- パケット通信時に USB 接続と Bluetooth 接続を切り替える場合は、切り替える際に再度接続先 (APN) を設定する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先 (APN) を継続利用する場合は、同じ APN の登録番号 (cid) を FOMA 端末に登録してください。
- お買い上げ時、cid 1 にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するための APN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。

## ダイヤルアップネットワークの設定をする

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信 / 64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。次のような流れになります。

パケット通信、64Kデータ通信 P 320

パケット通信および64Kデータ通信の条件 P 322

### パケット通信の設定方法

### 64Kデータ通信の設定方法

64Kデータ通信の設定方法については、「64Kデータ通信を設定する ( P 372 )」をあわせてご覧ください。

通信設定ファイルをインストールする P 328  
パソコンとFOMA端末を接続する P 326、335

接続先( APN )を設定する P 359

接続先がmoperaの場合は、この設定は不要です。

発信者番号の通知 / 非通知を設定する P 361

その他の設定をする( ATコマンド ) P 398

## ダイヤルアップネットワークの設定をする P 362

設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

	Windows XP をお使いのとき	Windows 2000 Professionalを お使いのとき	Windows Me をお使いのとき	Windows 98 をお使いのとき
接続先を設定する	P 362	P 365	P 369	P 371
TCP/IPを設定する	P 364	P 368	P 370	P 372

接続する P 373

切断する P 374

## お知らせ

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。



## パケット通信の設定をする

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

### 接続先 (APN) を設定する

お買い上げ時 cid1 : mopera.ne.jp cid2 ~ 10 : 設定なし

パケット通信を行う場合の接続先 (APN) を設定します。接続先 (APN) は最大10件設定でき、登録番号cid1 ~ cid10( P361) を付けて管理します。cid1には、既にドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN「mopera.ne.jp」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2 ~ 10の番号に設定することをおすすめします。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。P326、P327 Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。P335、P336 パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。
- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先 (APN) を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSB接続とBluetooth接続を切り替える場合は、切り替える際に再度接続先 (APN) を設定する必要があります。
- 登録したcid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。P361
- mopera 以外の接続先 (APN) については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例 Windows XPで設定する場合

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面表示が異なります。

## 1 [スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック(98ではさらに「Hypertrm」アイコンをダブルクリック)する

ハイパーターミナルが起動します。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

## 2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力して[OK]をクリックする

電話番号の詳細設定画面が表示されます。



## 3 「接続方法」を選択し、「電話番号」に実在しない電話番号(「0」など)を仮入力して[OK]をクリックする

- 市外局番には、Windows に設定されている値「03」などが表示されていますが、接続先 (APN) の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。



USB接続の場合

- 次の接続方法を選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
 またはBluetoothリンク経由標準モデムもしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム

## 4 接続画面が表示されたら[キャンセル]をクリックする

## 5 接続先( APN )を入力して[Enter]を押す

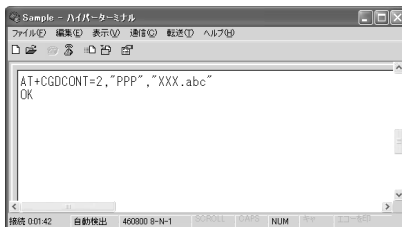
- 「AT+CGDCONT = <cid>," PPP ", " APN "」の形式で入力します。 P407  
 <cid> : 2 ~ 10までのうち任意の番号を入力します。  
 「 PPP 」 : そのまま「 PPP 」と入力します。  
 「 APN 」 : 接続先( APN )を“ ”で囲んで入力します。



- 「OK」と表示されれば、接続先( APN )の設定は完了です。
- 現在の接続先( APN )設定を確認する場合は、「AT+CGDCONT?」と入力すると、APN設定が一覧で表示されます。 P407

## 6 「OK」と表示されていることを確認し、[ファイル]メニュー「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

- ハイパーターミナルが終了します。
- 「“ XXX ”と名前付けられた接続を保存しますか?」と表示されますが、保存する必要はありません。



### ATコマンドで接続先( APN )設定をリセットするとき

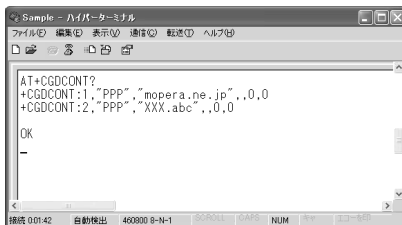
リセットした場合、<cid>=1のみ「mopera.ne.jp (初期値)」に戻り、<cid>=2 ~ 10の設定は未登録になります。

- AT+CGDCONT= : すべてのcidをリセットする場合
- AT+CGDCONT=<cid> : 特定のcidのみリセットする場合

### ATコマンドで接続先( APN )設定を確認するとき

- AT+CGDCONT?
 

詳細 P407



### ATコマンドを入力しても画面に何も表示されないとき

- ATE1
 

詳細 P403

## 接続先 (APN) と登録番号 (cid) について

パケット通信の接続先 (APN) は、FOMA端末の登録番号cid1 ~ cid10に設定できます。お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。mopera以外のインターネットサービスプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2 ~ cid10にAPNを登録してください。

- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先 (APN) を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えることができます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号 (cid)	登録番号 (メモリ番号)
APN	相手の電話番号

ダイヤルアップの接続先を指定するときは、次のように入力します。

\*99\*\*\*(cidの番号)#

例 cid2に設定されている接続先 (APN) を指定するとき

\*99\*\*\*2#

## 発信者番号の通知 / 非通知を設定する

お買い上げ時 設定なし

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- 1 P359の操作1 ~ 5を行う
- 2 パケット通信時の発信者番号の通知 (186) / 非通知 (184) を設定する

- 「AT\*DGPIR=<n>」の形式で入力します。

P400

AT\*DGPIR=1

パケット通信確立時、接続先 (APN) に「184」を付けて接続します。

AT\*DGPIR=2

パケット通信確立時、接続先 (APN) に「186」を付けて接続します。



- 3 「OK」と表示されていることを確認し、[ファイル]メニュー「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

ハイパーターミナルが終了します。



## ダイヤルアップネットワークでの通知 / 非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186 (通知) / 「184 (非通知) を付けることができます。

\* DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186 (通知) / 「184 (非通知) の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定 (<cid>=1 の場合)	*DGPIRコマンドによる通知 / 非通知設定	発信者番号の通知 / 非通知
*99***1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし	非通知
	非通知	(ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される)
	通知	
186*99***1#	設定なし	通知
	非通知	(ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される)
	通知	

- \* DGPIRコマンドによる通知 / 非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT\*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号の通知 / 非通知を「通知」に設定する必要があります。

## Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

## 接続先を設定する

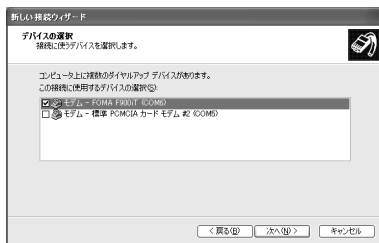
例 <cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

- 1 [スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする  
「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。
- 3 [次へ]をクリックする  
ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

- 4 「インターネットに接続する」を選択して[次へ]をクリックする  
準備画面が表示されます。
- 5 「接続を手動でセットアップする」を選択して[次へ]をクリックする  
インターネット接続画面が表示されます。
- 6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して[次へ]をクリックする  
デバイスの選択画面が表示されます。
- 7 モデムを選択して[次へ]をクリックする

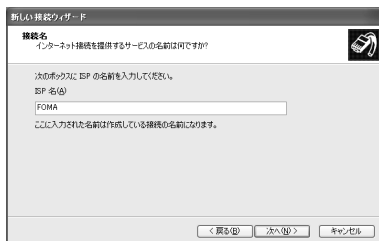
接続名画面が表示されます。

- 次のモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT(COMX)
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem (COMX)
 またはBluetoothリンク経由標準モデム (COMX)  
 もしくはパソコンメーカーが提供している Bluetoothモデム (COMX)



USB接続の場合

- 8 「ISP名」に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする  
ダイヤルする電話番号画面が表示されます。



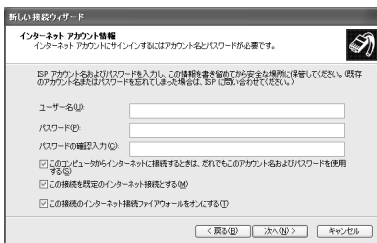
- 9 「電話番号」に接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする  
インターネットアカウント情報画面が表示されます。



# 10 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、各項目を画面例のように設定して次へをクリックする

新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。



# 11 [完了] をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

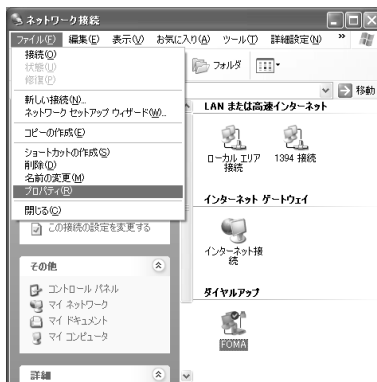
# 12 設定内容を確認して[キャンセル] をクリックする

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

## TCP/IP プロトコルを設定する

# 1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。



# 2 [全般] タブの各項目の設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」を選択します。

- USB接続の場合：FOMA F900iT (COMX)

- Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem (COMX)  
またはBluetoothリンク経由標準モデム (COMX)

もしくはパソコンメーカーが提供している Bluetoothモデム (COMX)

- 「ダイヤル情報を使う」を非選択 (□) にします。



USB接続の場合

### 3 [ ネットワーク ] タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。



### 4 [ 設定 ] をクリックする

「PPP設定」画面が表示されます。

### 5 すべての項目を非選択(□)にして [ OK ] をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。



### 6 [ OK ] をクリックする

接続先とTCP/IP プロトコルが設定されます。

## Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IP プロトコルの両方を設定します。

### 接続先を設定する

例 <cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

### 1 [ スタート ] メニューをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

### 2 [ 新しい接続の作成 ] アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は「新しい接続の作成」アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

## 3 「市外局番」を入力して[ OK ]をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

## 4 [ OK ]をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

## 5 [ 次へ ]をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

## 6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して[ 次へ ]をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

## 7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択して[ 次へ ]をクリックする

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

## 8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して[ 次へ ]をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

## 9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が使用するモデムに設定されていることを確認して[ 次へ ]をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 使用するモデムが設定されていない場合は、選択します。

- USB接続の場合：FOMA F900iT

- Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem

またはBluetoothリンク経由標準モデム

もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetooth  
モデム

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

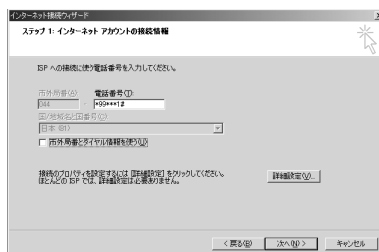
## 10 「電話番号」に接続先の番号を入力して[ 詳細設定 ]をクリックする

詳細接続プロパティ画面が表示されます。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択 () にします。

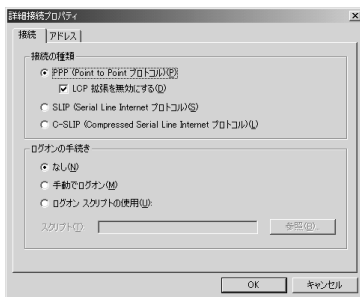


USB接続の場合

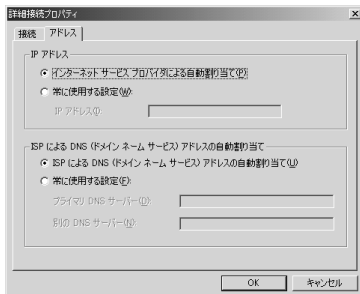




## 11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する



## 12 [アドレス]タブをクリックして各項目を画面例のように設定する



## 13 [OK]をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

## 14 [次へ]をクリックする

インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

## 15 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、[次へ]をクリックする

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して操作 17 に進みます。

## 16 「はい」をクリックし、続けて表示される画面でもう一度「はい」をクリックする

コンピュータの設定画面が表示されます。

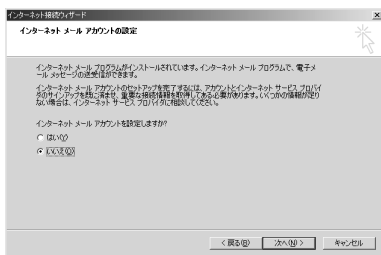
## 17 「接続名」に任意の接続名を入力して [次へ] をクリックする

インターネットメールアカウントの設定画面が表示されます。



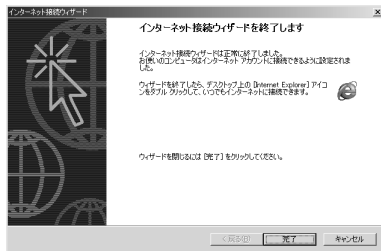
## 18 「いいえ」を選択して次へをクリックする

インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。



## 19 [完了] をクリックする

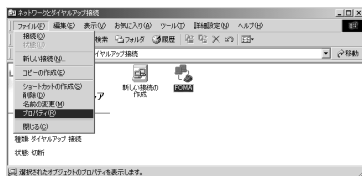
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。



## TCP/IP プロトコルを設定する

### 1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。



### 2 [全般] タブの各項目の設定を確認する

• 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」でモデムを選択します。

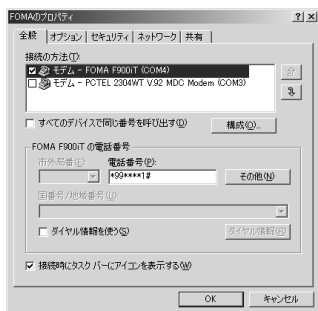
- USB接続の場合：FOMA F900iT (COMX)

- Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem (COMX)

またはBluetoothリンク経由標準モデム (COMX)

もしくはパソコンメーカーが提供している Bluetoothモデム(COMX)

• 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

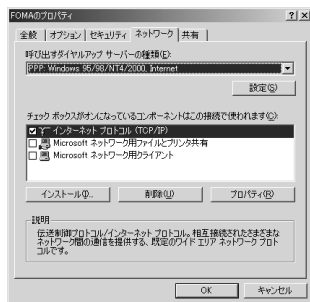


USB接続の場合

### 3 [ネットワーク] タブをクリックして各項目の設定を確認する

• 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。

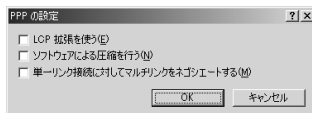
• コンポーネントは「インターネットプロトコル (TCP/IP)」だけを選択します。「PPPの設定」画面が表示されます。



4 [設定] をクリックする  
「PPP の設定」画面が表示されます。

5 すべての項目を非選択(□)にして [OK] を  
クリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。



6 [OK] をクリックする

接続先とTCP/IP プロトコルが設定されます。

## Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

### 接続先を設定する

例 <cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 [スタート]メニューをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」  
「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリック  
する

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」が表示されます。

- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 [次へ] をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする

接続名を入力する画面が表示されます。

4 「接続名」に任意の接続名を入力して  
[次へ] をクリックする

接続先電話番号の指定画面が表示されます。

- 「モデムの選択」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
- またはBluetoothリンク経由標準モデム  
もしくはパソコンメーカーが提供している  
Bluetoothモデム



USB接続の場合

5 接続先の番号を入力して [次へ] をク  
リックする

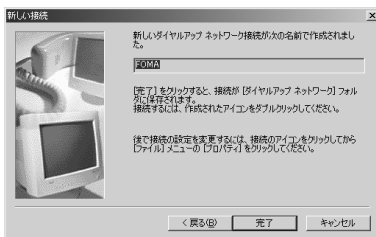
ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面  
が表示されます。

- 「市外局番」には何も入力しません。



## 6 接続先名を確認して「完了」をクリックする

接続先が設定されます。



## TCP/IPプロトコルを設定する

### 1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。



### 2 [全般]タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択 () にします。
- 「接続方法」を確認し、正しいモデムを設定します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem  
またはBluetoothリンク経由標準モデム  
もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム



### USB接続の場合

### 3 [ネットワーク]タブをクリックして各項目の設定を確認する

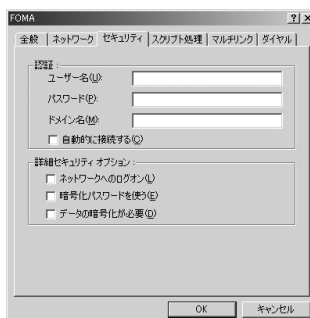
- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。



### 4 [セキュリティ]タブをクリックして「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、「OK」をクリックする

TCP/IP が設定されます。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。



## 接続先を設定する

例 <cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

# 1 [スタート]メニューをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

# 2 [次へ]をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

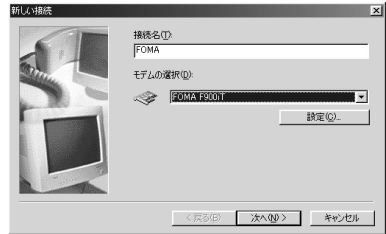
# 3 [新しい接続]アイコンをダブルクリックする

接続名を入力する画面が表示されます。

# 4 「接続名」に任意の接続名を入力して [次へ]をクリックする

接続先電話番号の指定画面が表示されます。

- 「モデムの選択」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
 またはBluetoothリンク経由標準モデムもしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム



USB接続の場合

# 5 接続先の電話番号を入力して [次へ] をクリックする

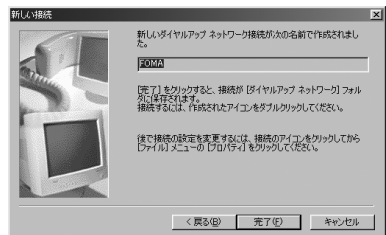
ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。

- 「市外局番」には何も入力しません。



# 6 接続先名を確認して [完了] をクリックする

接続先が設定されます。



## 1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。



## 2 [全般]タブの各項目の設定を確認する

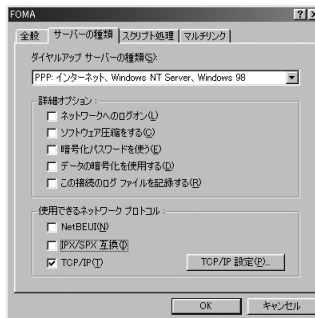
- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択 () にします。
- 「接続の方法」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem  
またはBluetoothリンク経由標準モデム  
もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム



USB接続の場合

## 3 [サーバーの種類]タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。



## 4 [OK]をクリックする

TCP/IPが設定されます。

### 64Kデータ通信を設定する

64Kデータ通信の接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。64Kデータ通信では、接続先 (APN) の設定の代わりにインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。その他のダイヤルアップネットワークの設定は、パケット通信と同様です。

- 64Kデータ通信のアクセスポイントとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、接続先の番号を「\*9601」に設定します。
- 「発信者番号の通知 / 非通知」は必要に応じて設定してください (moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります)。
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

## ダイヤルアップ接続する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信 / 64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

接続を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 P326、P327 Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。 P335、P336 パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

例 Windows XPでダイヤルアップ接続するとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示などが異なります。

### 1 [スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、[スタート]メニューをクリックし、「プログラム」「アクセサリ」「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

### 2 接続先のアイコンをダブルクリックする

「接続」画面が表示されます。



### 3 各項目を確認して「ダイヤル」をクリックする

接続先へ接続されます。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、各項目を確認して、「接続」をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」、「パスワード」の入力は不要です。



## 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

### 1 タスクトレイのをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

### 2 [切断]をクリックする

接続が切断されます。



## Bluetooth接続の場合

FOMA端末のダイヤルアップ通信サービスも停止します。 P 337